

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	中央図書館長 菊池 隆
教育-40 市史編纂事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 中央図書館(総務課) 関連課
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針 学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市史の編さん及び公開をするため。
効果	歴史的資料の活用を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

市史の編さんに向け、歴史的資料の整理・保存及び散逸防止を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円) 2,390	国県支出金	決算値(千円) 2,201	国県支出金	
		地方債		地方債	
		その他		その他	
	一般財源 2,390	一般財源	2,201		
	人員配置数 0.2	人員配置数	0.2		
	人件費(千円) 1,542	人件費(千円)	1,518		
事業経費運営	総事業費(千円) 3,932	総事業費(千円)	3,719		
	市民1人当りの経費(円) 22	市民1人当りの経費(円)	21		
	対象者1人当りの経費(円)	対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	所蔵資料をデジタル化しホームページ上で公開するためには、著作権者(著作権継承者)の許諾が必要である。著作権者の死後50年間で有効である著作権の許諾をとる作業やデジタル化した資料のデータ作成等に人的・時間的に手間がかかることが課題である。				
課題解決のために行った平成26年度の取組	著作権の許諾が可能な資料から手続き処理をし、ホームページに公開した。				<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	市史編纂事業は、平成24年度から補助執行しているが、それに付随する歴史的公文書の選別等の作業を平成26年度から試行した。歴史的公文書の選別を公文書管理法の主旨に沿った事業とするためには、最初が肝心であり、人的・施設面での補充が不可欠である。				
効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない			
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない			
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある			
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある			
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある			
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない		
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない		
			協働実施済の場合のパートナー		
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒ 見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	⇒ 見直しの内容 事業へ統合		
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	歴史的公文書の選別については、人的・施設面での補充が不可欠である。また市史編纂事業に関しても、近い将来、編纂委員会を立ち上げ出版物の検討の必要がある。		
総 評					

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成26年度に歴史的公文書等として保管(あるいは仮保管)した保存箱数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	寒川町					
他市実績	4箱	85箱	9箱					
	仮保管	保管	保管					
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	当市の場合、試行1年目であり、各課からの当該文書の提出が殆どなかったことが箱数に表れました。そこで26年度中に研修会を開催し、年度末で期限切れとなる文書について平成27年度初めに図書館から指定して提出してもらい確認の上、保存していきます。一方、藤沢市の場合、公文書管理法施行以前に公文書館が設置され、30年以上の歴史があります。殆どの職員が文書を残すことについて当たり前という意識があるため箱数が多いと考えます。寒川町は全国的にも珍しい町レベルで公文書館を設置している自治体ですが、予算規模も少ないため箱数が少なかったものと思われれます。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---